



The Project for Increasing Farmers Households' Incomes
through Strengthening Domestic Rice Production in Timor-Leste



次期雨期作の準備を継続

成果 1: 栽培技術

1. FFSに関する聞き取り調査

FFSに既に参加した農家からFFSの感想、特にGAPを彼らの圃場で広く実践するための課題を聞き取るための質問票を作成した。12月以降に農家より聞き取りを行い、今後FFSの展開を検討するために活用していく。

2. 次期雨期作の準備

次作期FFSに参加してくれる農家を、ブルトとマリアナの両サイトで合計80名確認した。以下の表は、前作期にFFSに参加した農家数と次作期に参加する農家数を、サイト毎に示す。

	前作期 参加 農家数	次作期 参加 農家数	合計
ブルト	40	40	80
マリアナ	40	40	80
合計	80	80	160

成果 2: 灌漑管理

1. 水路清掃

農家、Kabu-we(伝統的水番人)、水利組合(WUA)幹部が水路の清掃を行うことを支援した。以下の表は、幹線水路の清掃に参加した農家数を水路毎に示す。

日付	水路番号	農家数
11月13日	4.2-5/6	62
11月16日	4-4.2	20
11月16日	5/6-7	16
11月23日	5/6-7	40



水路清掃の様子

成果 3: 物流と販売 (民間)

1. チャクブ組合とアセルダ社による 粗購入

チャクブ組合とアセルダ社による粗購入を支援した。11月までの累計と11月の購入量は下表の通り。

	チャクブ組合	アセルダ社
11月迄	50.1トン	52.0トン
11月	4.9 トン	6.0トン
累計	55.0トン	58.0トン

2. チャクブ組合とアセルダ社 メンバーシッププログラム説明会

チャクブ組合とアセルダ社のメンバーシッププログラム説明会を実施した。



マリアナのチャクブ組合と、先月の全体説明会に続き、村レベルの会合を開き、合計105名の農家がメンバーシッププログラムに参加することを確認した。



ブルトのアセルダ社と、11月25日にラレイア地区で、そして26日にベマセ地区で全体説明会を開催した。両日で、合計約100名の農家と地元行政官が参加した。

3. 国産米生産促進キャンペーン



MAFアグロコマース局およびNLCと、国産米生産促進のためのキャンペーンについて議論した。

生産促進のためのTVコマーシャルや広告が、12月よりTV、ラジオ、新聞広告、バナーにより東ティモール国全体に広報される予定である。

成果 4: 買取と配布 (政府)

1. NLCによる支払い

8月にNLCに籾を販売した8農家グループのうち、2グループのみが11月までにNLCからの入金を確認した。今後NLCによる支払いシステムを更に分析し、今後の改善策を見出していく。



2. ブルト周辺地域調査

ブルト灌漑地域周辺の5つの村におけるコメの生産や販売の状況を把握し、かつ、NLCによる買取りに関して関係者に情報共有するため、周辺地域を訪問した。



パウカウ県の地元行政官との面談の様子

成果 5: 研修と政策

4つの他灌漑地域に関する調査報告書を作成させた。この報告書では、各灌漑地域のコメ栽培、灌漑水管理、販売などに関する基本情報が纏められている。

来月の主な活動予定

成果 1:

FFS準備および第1回FFS実施

成果 2:

幹線水路及び二次水路清掃支援

成果 3:

チャクブ組合およびアセルダ社によるメンバーシッププログラム説明会を支援

成果 4:

NLCによる買取りオペレーション説明会をマリアナにて開催